

## 地域安全学会年間優秀論文賞を受賞しました（2024/5/24）

テーマ：災害科学

場 所：小千谷市総合産業会館サンプラザ（新潟県小千谷市）

5月24日（金）、地域安全学会の2024年度地域安全学会総会のなかで授賞式が開催され、佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）に2023年（令和5年）の年間優秀論文賞が授与されました。同学会の年間優秀論文賞は、当該年度発行の査読論文の中で特に優秀な論文に賞するものです。佐藤翔輔准教授は、この度、宮城県が制作した東日本大震災の記録の作成プロセスを観察・調査し、他自治体の参考となる知見を形式知化した研究成果が高く評価され、同年の年間優秀論文賞の受賞となりました。同記録誌の編纂は佐藤翔輔准教授のほか、今村文彦教授（津波工学研究分野）も関わっており、当日の授賞式にも同席しました。

佐藤翔輔准教授は、2013年、2019年、2022年にも年間優秀論文賞を受賞しており、年間優秀論文賞受賞回数が学会中トップです（合計4回）。それ以外にも論文奨励賞（2003年）、優秀発表賞（2016年）、技術賞（2019年）の受賞で、同学会で計7賞を受賞しており、学会最多となります。

### 【受賞論文】

佐藤翔輔，今村文彦：被災自治体による発災から復興過程におよぶ災害対応記録誌の作成プロセス：「みやぎの3.11」作成業務の観察・調査にもとづく実態把握（地域安全学会論文集，No. 43，pp. 201-211，2023.）



授賞式の様子（左：佐藤翔輔准教授，右：村尾修教授（学会長））

文責：村尾修（国際防災戦略研究分野），佐藤翔輔（防災社会推進分野）